

## INTERVIEW

施工事例インタビュー

### 地元組合員様の要望を受け 新しいセレモニーホールが完成。

JA葬祭 虹のホール亀山は全農三重一級建築士事務所様設計による葬儀式場で、2020年1月に開館。JA鈴鹿が運営する葬儀式場はこれまで鈴鹿市内のみでしたが、組合員様の強い要望を受けて亀山の地に建設されました。近年は家族葬など少人数での葬儀が増えていることもあり、70名ほどが集えるホールを備えた施設となっています。

### 外観の美しさを長く保ち メンテナンス費用を抑える「光セラ」に期待。

外壁に採用されたのは窯業系サイディングの「光セラ」。建築コストに配慮してサイディングを使う機会が多いとおっしゃる川北氏ですが、「昔はサイディングのビスを打った箇所が年月とともに割れたり、色が変わってきたものだが、いまのサイディングや施工方法ならそれがなくて安心」とのこと。また今回の施設では、光触媒の働きで建物の美しさが長持ちする「光セラ」をお選びになりました。「汚れを落としたり、塗り直したりのメンテナンスコストを考えると、通常のサイディングよりも光セラのほうがメリットがあるのでは」と判断。また、川北氏がこれまで手掛けてきた施設の中には、建てたあと壁面に緑色のコケが生えてきたものもあり、「光セラ」なら防いでくれるのではと期待されています。



### 落ち着いた雰囲気を優先し 豊富な色柄からブラウン系の濃淡を選定。

外観は奇をてらうことなく落ち着いた雰囲気のある雰囲気を重視。ベージュ色のサイディングをメインに、腰板部には濃いブラウン色のものをコーディネートし、外観に安定感をあたえ、アクセントにもなっています。「サイディングは色柄を含めて種類が多いので、選びやすい点も魅力」と川北氏。「今回のように壁の色を張り分けるときなどは、いろいろな組み合わせが考えられます。腰板の有る・無しなども含めてケイミューが提供するCGイメージパースで検討でき、スムーズに進んだ」とのこと。また、このCGイメージパースは、開館前のPRチラシにも活用され、重宝された様子でした。



各種施設 [ 三重県 ]

### JA葬祭 虹のホール亀山

設計：全農三重一級建築士事務所  
構造：鉄骨造



別アングルを  
Webで紹介

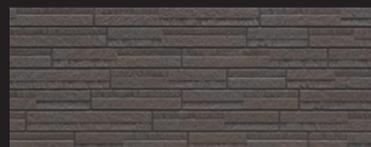
## セレモニーホールの 落ち着いた佇まいを 「光セラ」が末長く守る。

外壁材



ネオロック・光セラ16  
リッジウェーブ  
QFバルフェ チタン ベージュ

一般 寒冷



ネオロック・光セラ16  
マレストーン  
QFテンボ チタン ブラウン

一般 寒冷



全農三重  
一級建築士事務所

川北 清巳 氏

